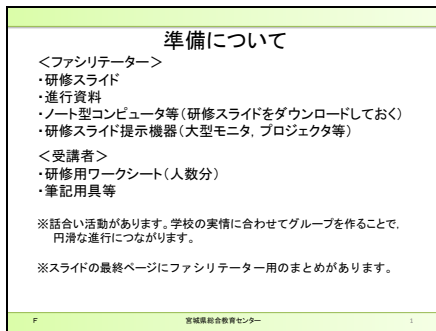
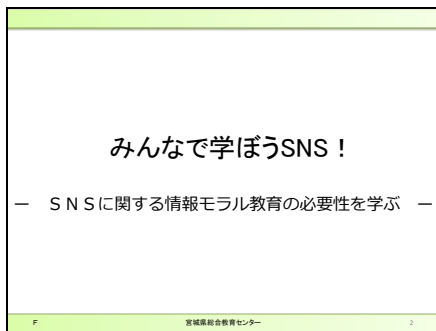


# F 進行資料

1



2



「みんなで学ぼうSNS! SNSに関する情報モラル教育の必要性を学ぶ」についての研修を行います。お手元の研修用ワークシートを使いながら進めていきます。また、先生方で話し合いながら進めていきますので、よろしくお願いします。

3



先生方、日頃、生徒指導を実践される中で、こんな経験はないですか?

4



子供から、SNS上でのことを相談されたとき、子供の言っている内容が分からなかったり、

5



詳しく教えてもらおうとしても、どんどん分からなくなったり、

6



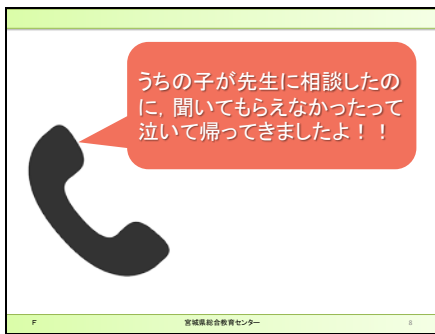
その結果、「もういいです」と諦められたり・・・。

7



先生方はこんな時、どのように対応していますか？

8



対応に困っていると、保護者からこんな電話が掛かってきたり、

9



また、ケース会議等で共通理解を図る場面でも、

10



SNSについて知っている人は話がかみ合いますが、

11



話の内容がかみ合わず、

12



何のことが分からなくて話題に入っていけないなど。こういう時はどうしてましたか？

【少し間を置く】

13



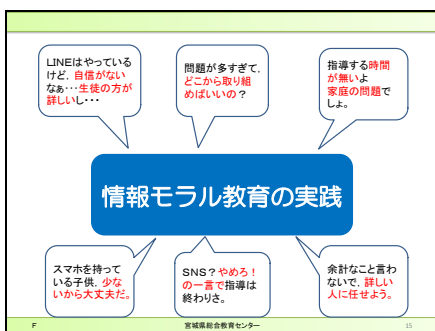
私たちは、例えば交通安全教育では、先生方同士で共通理解を図り、日常的な指導に当たっています。自転車で事故が起きても、家庭だけの責任にしたり、自転車に乗るのを禁止したりする指導ではなく、子供たちの安全を守ると同時に、交通安全に対する正しい知識と判断力等の育成を図るために指導しています。

14



同様に、SNSに関しても、子供たちは情報社会の中で生きていかなければならないこと考えると、自らが危険を回避し、安全に利用できるような考え方や態度を育成する必要があります。

15

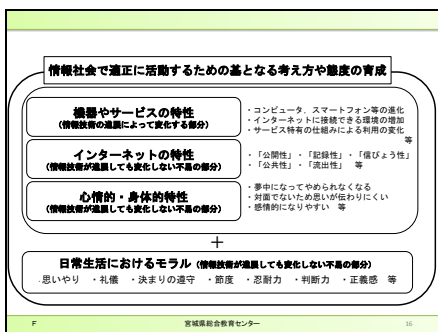


情報モラルの指導というと、難しさを感じる先生も少ないのではないのでしょうか。

だからと言って、一部の先生や詳しい先生だけが実践してしまってよいのでしょうか。学校全体で共通理解を図り、計画的・組織的に実践していくことが大切なのではないのでしょうか。

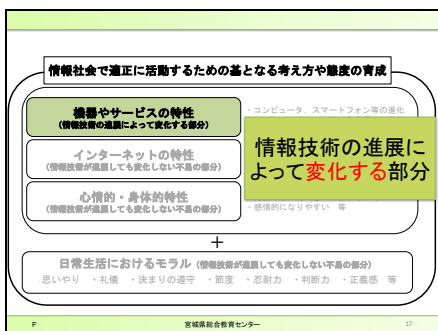
児童生徒を被害者にも加害者にもさせないため、次のからは、情報モラル教育、特にSNSに関する内容について研修していきましょう。

16



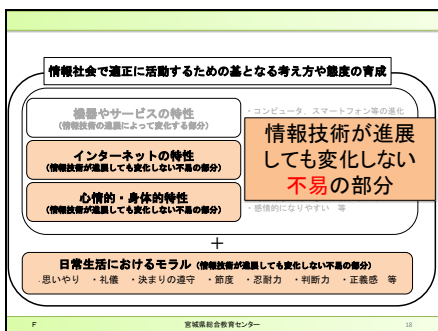
この図は、SNSに関する情報モラル教育の内容をまとめたものです。お手元のワークシートと照らし合わせながらご覧ください。

17



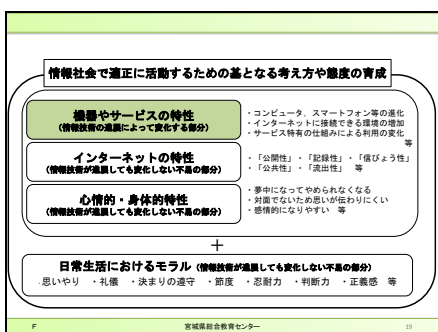
情報モラル教育の内容は、スマートフォン等の機器やSNSのサービス等、情報技術の進展によって変化する部分と

18



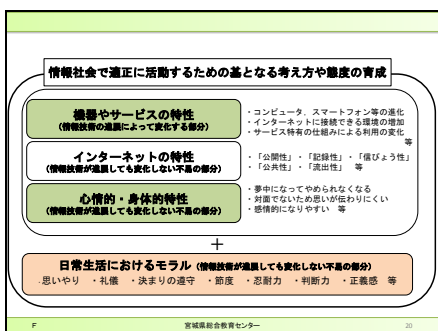
情報技術が進展しても変化しない不易の部分があります。

19



これらの部分を、単独で指導する場合と、

20



複数を組み合わせて指導する場合があります、SNSに関する指導では、これら3つの特性と、「日常生活におけるモラル」を、

21

情報社会で適正に活動するための基となる考え方や態度の育成

機器やサービスの特性  
(情報技術の進展によって変化する部分)  
・コンピュータ、スマートフォン等の進化  
・インターネットに接続できる機種の増加  
・サービス特有の仕組みによる利用の変化 等

インターネットの特性  
(情報技術が進展しても変化しない部分)  
・「公開性」・「記録性」・「虚偽性」  
・「公益性」・「匿名性」 等

心情的・身体的特性  
(情報技術が進展しても変化しない部分)  
・夢中になってやめられなくなる  
・対面でないため思いが伝わりにくい  
・感情的になりやすい 等

**組み合わせた指導**

日常生活におけるモラル(情報技術が進展しても変化しない部分)  
思いやり・礼儀・決まりの遵守・節度・忍耐力・判断力・正義感 等

F 宮城県総合教育センター 21

組み合わせた指導を中心に行いながら、子供たちを育成する必要があります。

22

「情報モラル教育」について

教育の情報化に関する手引(文科省)より

「情報モラルは、道徳などで扱われる『日常生活におけるモラル』が前提」

- ・思いやり
- ・礼儀
- ・決まりの遵守
- ・忍耐力
- ・節度
- ・正義感 等
- ・判断力

F 宮城県総合教育センター 22

まず、情報モラル全般について、「『日常生活におけるモラル』が前提」と記されています。つまり、情報モラル教育は、日常のモラル教育を基に取り組んでいかなければなりません。

23

SnsとはNなにかをS知ろう

F 宮城県総合教育センター 23

ところで、SNSってご存知でしょうか？どのようなイメージを持っていますか？

【自由に意見を引き出す】

24

日本での利用者が多い主なSNS

Facebook フェイスブック	Twitter ツイッター	LINE ライン
Instagram インスタグラム	Google+ グーグルプラス	Miiverse ミーバース <small>※任天堂のゲーム機で利用</small>

F 宮城県総合教育センター 24

SNSと呼ばれるサービスは、このようなものがあります。皆さんも聞いたことがあるものや、ミーバースのようなゲーム機を使ったものまで様々な種類のものがあります。そして、これらのサービスはどんどん変化しています。

25

日本での利用者が多い主なSNS

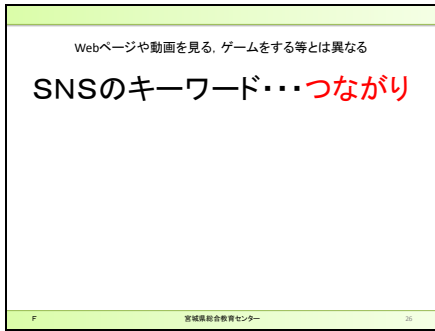
Facebook フェイスブック	Twitter ツイッター	LINE ライン
Instagram インスタグラム	Google+ グーグルプラス	Miiverse ミーバース <small>※任天堂のゲーム機で利用</small>

人と人のつながりを補助し  
コミュニケーションを促進するサービス

F 宮城県総合教育センター 25

ただし、どのサービスにも共通しているのは、人と人とのつながりを補助し、コミュニケーションを促進するサービスだということです。

26



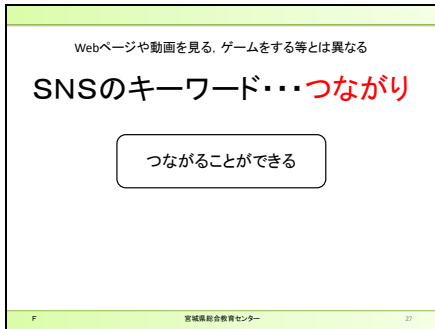
子供たちに多かったインターネットの利用方法は、Webページを見たり、動画を見たり、ゲームをしたりといったことでした。

それらの利用とSNSの利用では大きな違いがあります。さて何だと思いませんか？隣の人と確認してみてください。

【15秒程度時間を取る】

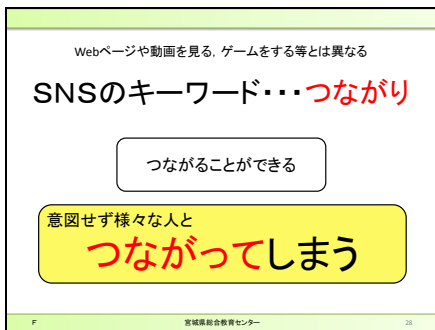
皆さん、もうお気付きですね。大きな違いとは「1人でも楽しめる」利用から「つながり」を利用したものへと変化したことです。

27



つながりを補助し、促進するということは、「つながることができる」のはもちろん、

28



意図せず様々な人と「つながってしまう」こともあるということ。

子供のSNSの利用状況は、「つながってしまうこともある」ということをあまり意識していません。この点については、「みやぎSNSナビゲーション」の他の研修で詳しく知ることができます。

29

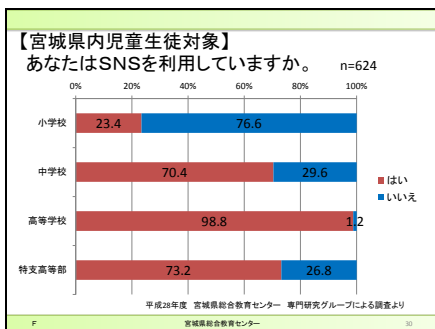


冒頭の、相談に来た児童生徒の話に戻ります。

SNS上での「つながり」は、学校の「つながり」にも影響を及ぼすことがあります。

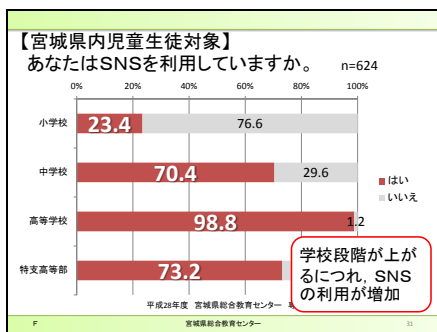
トラブルが起きれば、先生に相談をしにくることもあるでしょう。

30



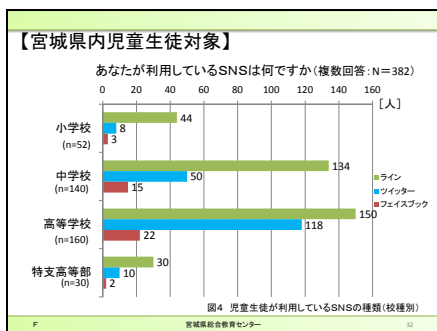
平成28年に宮城県総合教育センター専門研究グループで実施した県内の児童生徒を対象としたアンケート調査では、SNSの利用について、

31



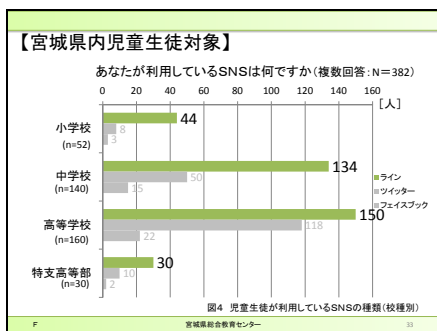
利用している児童生徒は、学校段階が上がるにつれて、増加していることが分かりました。高等学校では、ほぼ100%の生徒がSNSを利用しています。

32



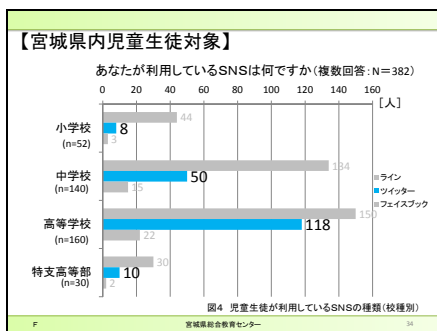
また、利用しているSNSの種類についての問いでは、

33



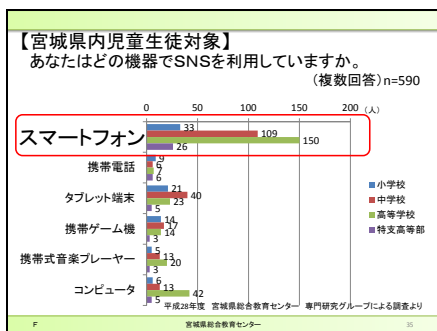
ラインが最も多く、

34



次いで、ツイッターの利用が多いことが分かりました。

35

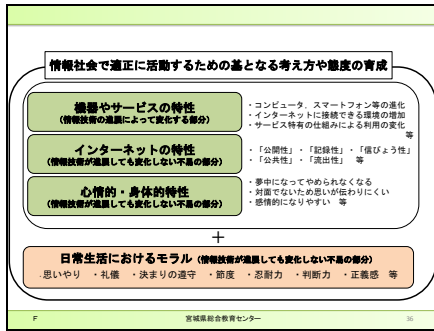


また、どの校種でも、スマートフォンでの利用が圧倒的に多いことが分かりました。

これだけたくさんの児童生徒が使っています。先生方自身も使っていないとしても、子供たちにとってはなくてはならないものになっています。

ですから、

36



先ほどお話した3つの特性と「日常生活におけるモラル」を組み合わせたSNSに関する情報モラル教育について、先生方同士が共通理解し、みんなで取り組んでいくことが必要です。

37

今回の研修を  
振り返ってみましょう。

- ・学んだこと
- ・感想
- ・活用できそうなこと など

では最後に、この研修を受けて学んだことや感想、今後実際に活用できそうなことなど、3～4人の先生方に発表していただきます。まず、近くの先生と話し合ってください。

【1分程度話し合ってもらう】

【3～4人指名し、確認する】

いろいろな意見が出ましたね。今回の研修で学んだことや先生方の意見を参考にして、児童生徒と関わっていきましょう。

38

SNSに関する情報モラル教育を応援！

みやぎSNSナビゲーション

SNSに関する情報モラルに先を開らす

校内研修資料

みやぎSNSナビゲーション

SNS体験アプリ 保護者向け資料 資料の使い方 研修論文

Copyright (C) 2017 Miyagi Prefecture All Rights Reserved

クリックするとWebページに移動します

今日使用した研修用の資料や授業用ワークシートは宮城県総合教育センターのWebページからダウンロードできます。

39

校内研修資料

機器やサービスの特性に関する研修

インターネットの特性に関する研修

心情的・身体的特性に関する研修

その他

TOPへ戻る

クリックするとWebページに移動します

また、他の事例も豊富に掲載されています。授業でも活用してみてください。

以上で研修を終わります。お疲れ様でした。

40

ファシリテーター用

最後に困ったら、最後に読んでください。

- ・多くの児童生徒は、スマートフォンでSNSを利用している。
- ・児童生徒は「つながり」を求めてSNSを利用しているが、意図しないつながりから、トラブルに発展することも多い。
- ・学校でのSNSに関する情報モラル教育の必要性が高まっている。

「日常のモラル」を前提とした  
情報モラル教育の実践が必要